

高橋 大海さん（大阪府出身）

JICA 草の根技術協力事業

案件名：子どもの安全を保障するためのセーフティネット確立へ向けた

NGO のキャパシティディベロップメント研修の実施

実施団体：特定非営利活動法人 IMAGINUS 実施国：インド

2020年4月19日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

子どもを守る事業推進

私たち NPO 法人 IMAGINUS(イマジナス、東広島市)は 2013 年から、インドの子どもたちの問題に取り組んできました。教育、児童労働、人身取引に関する問題、駅のプラットフォームで生活する子どもの安全や健康、教育にも焦点を当てています。

活動地の西ベンガル州シリグリ市とダージリン市は複数の国境が近く、人と物が交錯する交通の要所です。この地を經由し多くの子どもが児童労働や人身取引に巻き込まれています。



児童保護シェルターに集まった子どもたち(シリグリ市)

2019 年、子どもたちを保護する現地 NGO のキャパシティビルディング（組織力やスタッフの能力向上を目指すプロジェクト）を始めました。国際協力機構（JICA）の草の根技術協力事業を活用した取り組みです。

今年 1 月には現地で 2 回目の研修が行われ、効果的に事業を計画する手法を学ぶ研修に、現地 NGO10 団体から 15 人の職員が参加しました。運営で難しかったことは、「理論的に考えること」に慣れておらず「話し出すと止まらない」参加者を、彼らが意図した結論へとどう導くかということです。

またインドは多民族国家なので、参加者同士のコミュニケーションも三つの言語が飛び交い、言葉の壁、文化の壁を目の当たりにしました。2 日間の研修が終わると参加者に^{あんど}安堵の表情が浮かび、学んだことを事業に応用したいとの積極的な意見をいただきました。草の根的なアプローチが実を結び、対象地域の児童保護セーフティネットが強化されることを願っています。IMAGINUS の連絡先は imaginus2013@gmail.com